

18 総合通信局

中国総合通信局電波監理部調査課

齋藤 誠

目立たないですが身近な存在



■ 仕事の内容

良好な電波利用環境のために

みなさんが日頃から使っている携帯電話をはじめ、テレビ、ラジオ、飛行機や船、消防・救急など、くらしで身近に存在しているものには電波が使われています。私の業務は、これらの電波を安心・安全に利用いただくための環境を確保することです。

このため、全国に電波監視システムを構築し、無線局等から実際に発射されている電波を受信又は測定することで電波利用環境の監視をしています。社会的に重大な影響が発生すると認められる重要無線通信妨害の申告があった場合には、電波監視システムを使ってモニタリングし、現地へ赴いて調査します。重要行事開催時などの重要無線通信妨害が予想される場合には、通信妨害を排除する電波監視体制をとっています。

このほか混信・妨害の原因となっている不法無線局（免許を受けていない無線局）を排除するため捜査機関との共同取締りや探査活動、電波のルールを守っていただくための周知啓発活動も行っています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

私にもできる？

採用される前、総務省はわたしの生活に身近な存在であると初めて知りました。しかし電波は目に見えない情報通信ってインターネットを使って何をやるのだろう、私に仕事出来るだろうかと非常に不安でした。

総合通信局は、本省に比べると小さな職場です。しかし人が少ない分、職場全員の顔と名前を覚えることができます。わからないことがあっても、みんながお互いを知っているの自然と相談しやすい環境ができていると思います。

私はいままでに情報通信、放送、電波監視と色々な分野を担当させていただきました。地上デジタル放送の普及は特に大変でしたが、どの分野もやりがいのある仕事ばかりです。直接的に国民と向き合う仕事ではありませんが、国民生活に関係していることばかりです。自分の携った仕事が国民のためになっていると実感を持てる、これこそが総務省の魅力だと思います。

管区行政評価局

総合通信局

■ PROFILE

Makoto Saito

- 平成18年 4月 総務省採用
中国総合通信局情報通信部情報通信振興課
- 平成19年 4月 中国総合通信局情報通信部情報通信連携推進課
- 平成20年 8月 情報流通行政局地域放送課
- 平成21年 7月 中国総合通信局情報通信部情報通信振興課
- 平成23年 4月 中国総合通信局放送部放送課
- 平成25年 4月 現職

■ PRIVATE TIME

職場の有志で結成している野球やテニスのサークルに参加して運動しています。いずれも趣味レベルのものですが、楽しく練習や試合をして汗を流しています。また、野球については年に一度、他の総合通信局が集まって大会があります。平均年齢は高いですが試合では優勝を目指して奮闘し、交流会では親睦を深め横の繋がりが広がります。



とある 一週間

■ MONDAY

明日からの出張の打合せや使用する測定機材の準備をします。

■ TUESDAY

捜査機関と共同取締りの打ち合わせ、移動中は探査活動を行います。

■ WEDNESDAY

捜査機関と不法無線局の共同取締りを行います。

■ THURSDAY

捜査機関と不法無線局の共同取締りを行います。

■ FRIDAY

出張報告書を作成し、違反行為者に関する違反処理を行います。